石油小形給湯機

取扱説明書 保証書付

品名

CBX-P470F

CBX-P4700E

もくじ

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

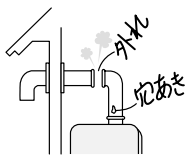
＊保証書(裏表紙)は必ず設置日・販売店名などの記入を確かめてください。

＊この取扱説明書(保証書付)は工事説明書と共にいつでもご覧になれるところに保管してください。

長府工産株式会社

SEB8230

特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

⚠警告(WARNING)	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

高温注意	感電注意	必ずおこなう	電源プラグを抜く	禁止	ガソリン禁止	接触禁止	ぬれ手禁止	分解禁止

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

排気筒トップの閉そく危険

【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉そくしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

排気筒外れ危険

【屋内設置・強制排気形の場合】

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠注意(CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、排気口・排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

＊シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
＊入浴するときは、手でお湯の温度を確かめてから入浴してください。やけどのおそれがあります。

可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物(紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など)を置かないでください。火災のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

異常時使用禁止

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。

1．給湯栓を閉める
2．運転スイッチを「切」にする
3．送油バルブ・給水元栓を閉める
4．販売店または、弊社に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

排気口・排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。火災や予想しない事故の原因になります。(☞P20)

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる

油漏れにより、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると、感電や火災の原因になります。

高温出湯に注意

湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

この機器の電源はＡＣ１００Ｖ、50Hzまたは60Hz用です

他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

囲い禁止

機器や排気口・排気筒トップを波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。

(つづく)

特に注意していただきたいこと-2

（つづき）

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより火災のおそれがあります。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

機器の給気口にほこりが目詰まりしていないことを確かめる

給気口は定期的に掃除してください。目詰まりにより、不完全燃焼から人身事故につながるおそれがあります。

変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油（日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油）や、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油）は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

お願い

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器等の損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

台所リモコン(本体操作部)に、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

凍結による破損を予防する(☞P19,20)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

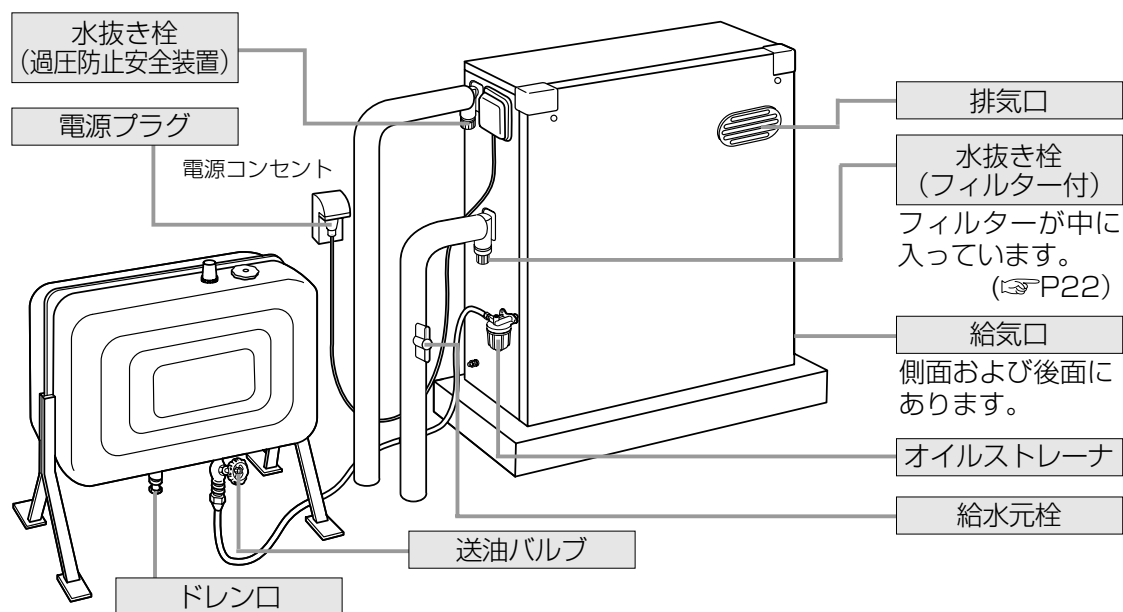
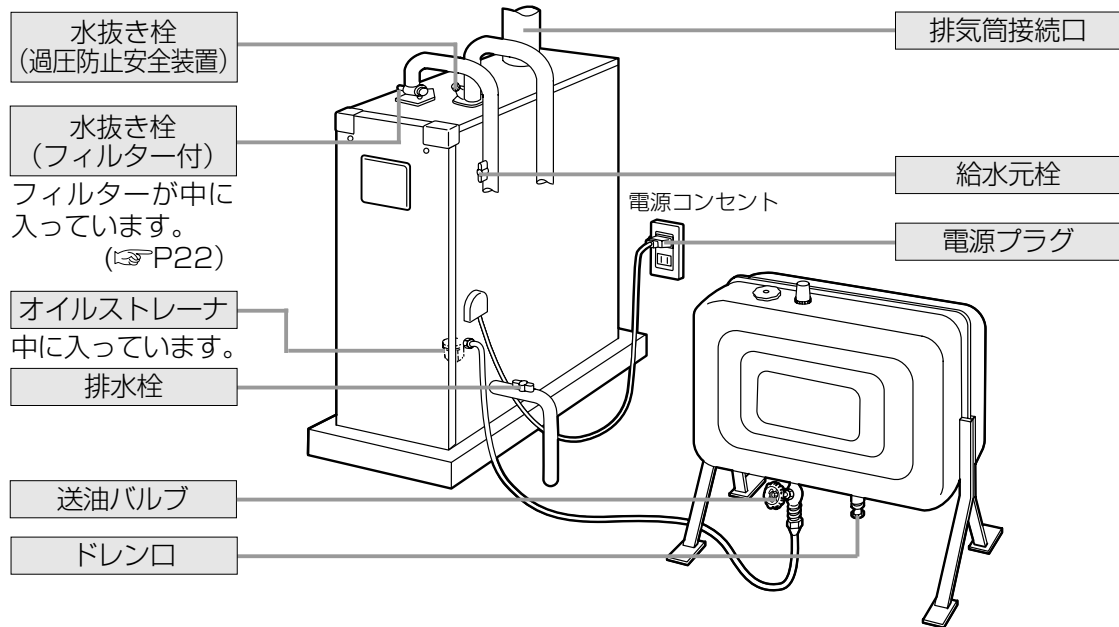
わからない場合は、販売店または、弊社に確認してください。

積雪時には排気口・排気筒トップの点検、除雪をする

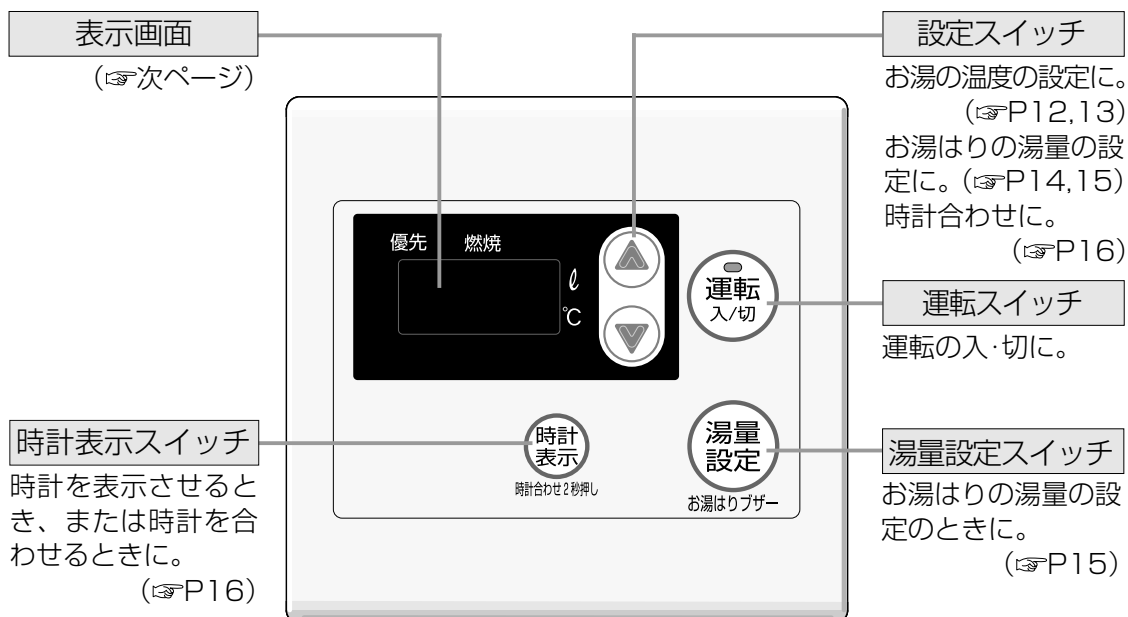
雪により排気口・排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

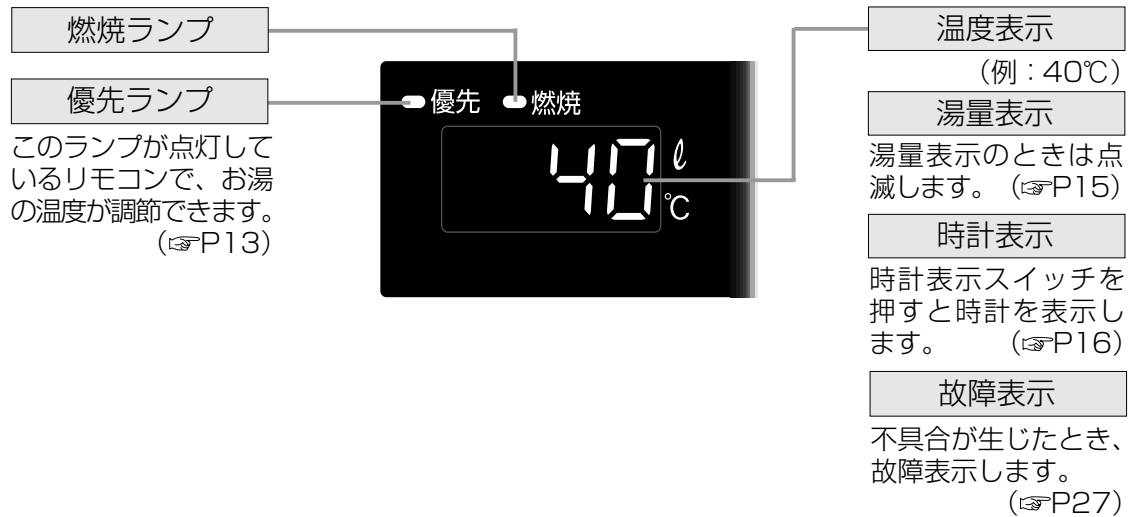
各部のなまえ-1

機器本体

【屋外設置形】
CBX-P470F

【屋内設置形・強制排気形】
CBX-P4700E

各部のなまえ-2

台所リモコン(本体操作部)<M-034DS>

(台所などに取り付けます)
※本取扱説明書では、本体操作部もリモコンとして説明しています。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

使用前の準備

⚠ 警告
排気筒外れ危険

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠ 注意
油漏れ注意

オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。
油漏れにより、火災の原因になります。

⚠ 注意
排気口・トップ周辺の確認

排気口･排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

⚠ 注意
可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災のおそれがあります。

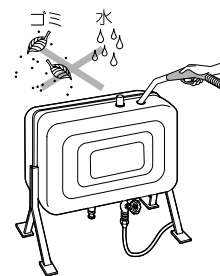
燃　料

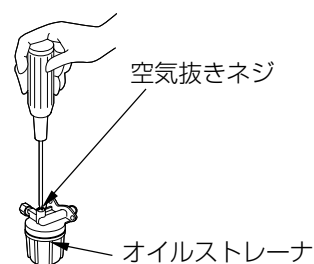
●燃料は、必ず灯油（JIS１号灯油）をお使いください。

⚠ 警告
ガソリン厳禁

灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

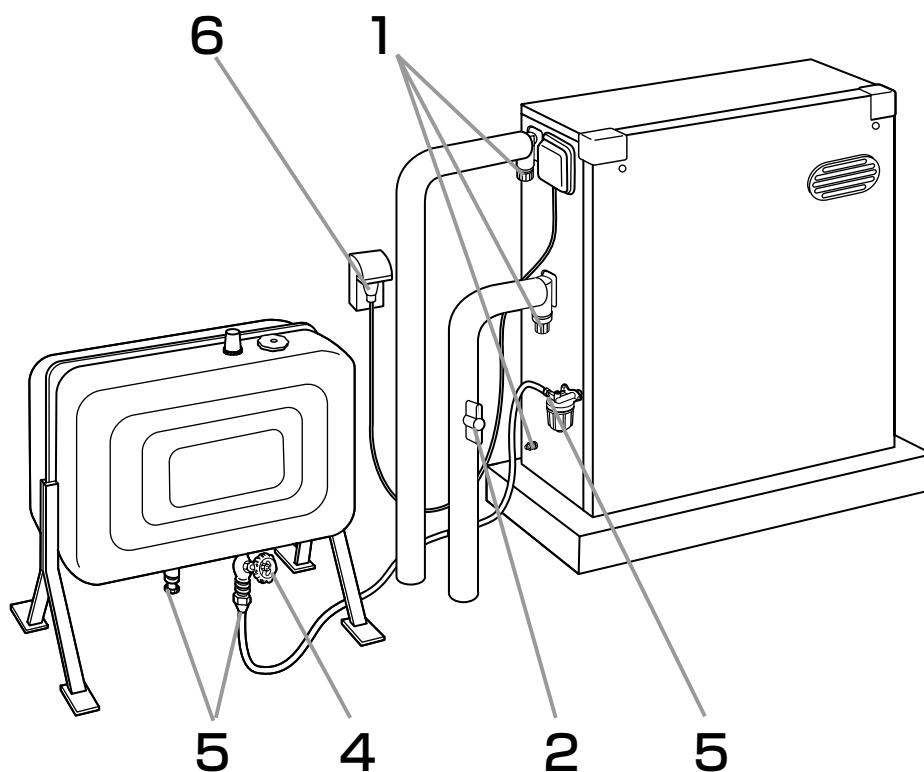
給　油

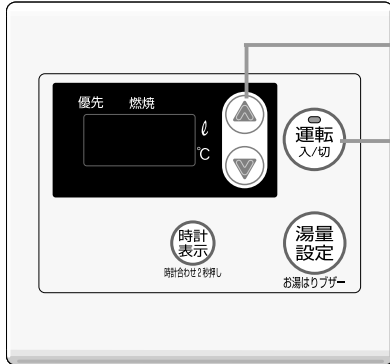
●オイルタンクへの給油の際の注意
・給油は、必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
・水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
・給油が終わった後、給油口のふたは、確実に締めてください。
・こぼれた灯油は、よく拭きとってください。
●オイルタンクを空にしないでください
・空にすると、着火がスムーズにできない場合があり、その際に空気抜きが必要になります。

<空気抜きのしかた>

●給油をした後、オイルタンクの送油バルブを開き、オイルストレーナの空気抜きネジをゆるめてください。
（このとき、灯油があふれ出てきたら空気抜きが完了です。※こぼれた灯油は、よく拭きとってください。）
●空気が抜けた後は、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付けてください。

運転開始前の準備と確認

準備と確認を、次の**1**〜**7**の手順でおこなってください。
（CBX-P470Fで説明していますが、その他の機種でも手順は同じです。）

1. 機器の水抜き栓、排水栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開く。
3. すべての給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。
4. オイルタンクの送油バルブを開ける。
5. オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認する。
6. 電源プラグをコンセントに差し込む。（交流100Ｖコンセント）
7. 対震自動消火装置をセットするため、リモコンの運転スイッチを押して「入」にし、再度押して「切」にする。（自動的にセットされます）

給湯栓

使いかた
お湯を出す/お湯の温度を調節する

（台所リモコン）

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

やけど予防のために

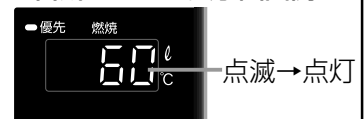
高温注意

●シャワーなどお湯を使用するときは､手でお湯の温度を確かめてから使用してください｡やけどのおそれがあります。
●入浴するときは､手でお湯の温度を確かめてから入浴してください｡やけどのおそれがあります。

給湯使用中の湯温設定注意

シャワー使用中などには、使用者以外は湯温設定を変えたり、リモコンの優先(☞次ページ)を切り替えないでください。突然、高温設定された湯が出ると、やけどのおそれがあります。

●60℃，75℃に設定したときは温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して、高温が出ることをお知らせします。
●60℃，75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。

<台所リモコン表示画面例>

給湯量と温度の早見表

※（　）内は湯、水を混合した値です。

温度＼水温	給湯量 リットル／min		
	8℃(冬期)	18℃(春･秋期)	28℃(夏期)
40℃	約21.0	約30.5	(約55.5)
48℃	約17.0	約22.5	(約34.0)
60℃	約13.0	約16.0	約21.0
75℃	約10.0	約11.5	約14.0

＜一度設定すると記憶します＞

2 設定スイッチで温度を調節する
（変更しないときは温度を確認する）

3 給湯栓を開ける

4 使用後は給湯栓を閉める

お湯の温度の目安

（℃ ・目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、・実際の温度とは異なります。）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など					高温	

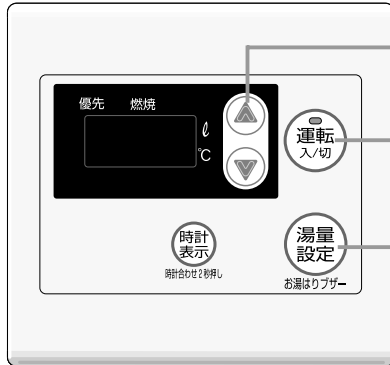
＜初期設定（工場出荷時）＝40℃＞

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度の約10℃アップに設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転を切り、再使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

使いかた

おふろのお湯はりをする

（台所リモコン）

運転前の準備

1．浴そうの排水栓を閉める。
2．浴そうのふたをする。（給湯栓の蛇口の部分は開けておく）

<運転スイッチ「切」のとき>

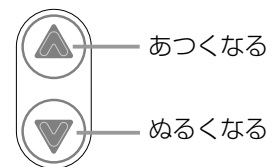
1 運転スイッチを押す

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで温度を調節する

（変更しないときは温度を確認する）

あつくなる

ぬるくなる

点灯確認

<お湯はりブザー>

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。
(お湯は自動的には止まりません)

温度の目安

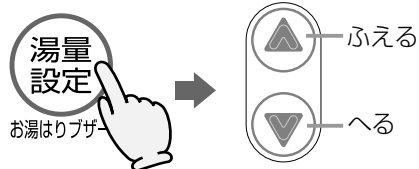
(℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定(工場出荷時)＝40℃

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅)、設定スイッチで調節する。

40〜260(20㍑きざみ)・300・350・400・990㍑の値で調節できます。
(目安の量)

㊟ 990㍑の場合、ブザーは鳴りません。

お湯はりの湯量 点滅(例：180㍑)

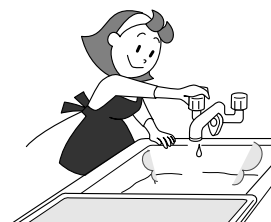
※点滅中に調節できます。
※10秒後、温度表示に変わります。

4 給湯栓を開ける

点灯

※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

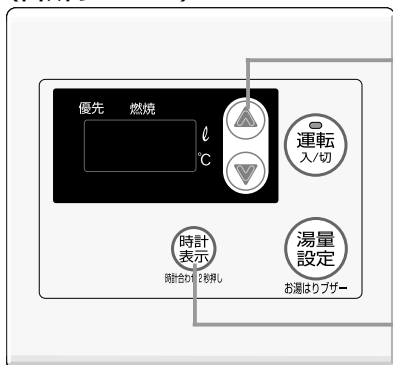
5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

ブザー(ピッピッ音)が鳴ったら設定量をお湯はりしました。お湯を止めてください。

㊟ 990㍑の場合、ブザーは鳴りません。

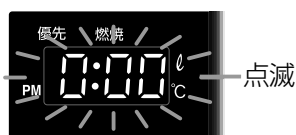
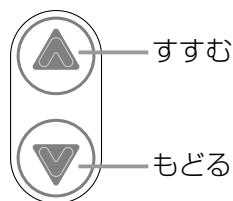
消灯

- お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていなくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた
時計を合わせる・時計を表示させる

（台所リモコン）

運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計表示ができます。
（イラストは「切」の状態です）

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約２秒押す（PM 0:00が点滅するまで）

2 設定スイッチで時計を合わせる

一度押す毎に１分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

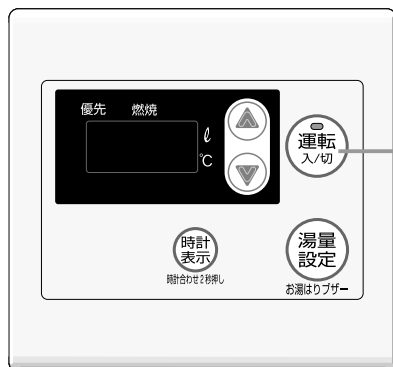
時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、表示が消えます。

- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- お湯の使用中や、60℃・75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると PM 0:00 に表示が変わりますので、時計合わせをしなおしてください。
- 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた
操作確認音の消しかた、鳴らしかた

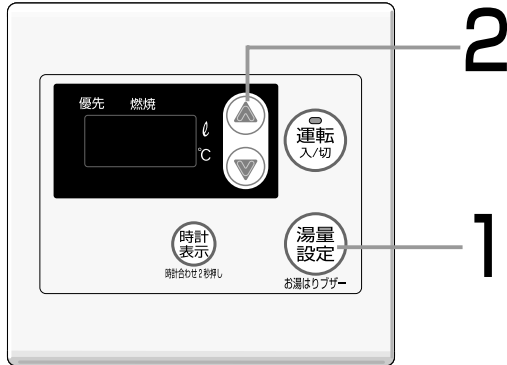
リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。
お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は、鳴るように設定しています）

（台所リモコン）

運転「切」の状態で 運転スイッチを約５秒間押す

操作確認音を鳴らすようにするときは、約2秒後に「ピッ」と音がします。
操作確認音を消すときは、音はしません。

お湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた
表示の節電を切り替える

（台所リモコン）

1 運転「切」の状態で湯量設定スイッチを約2秒押す

2 設定スイッチで変更する

※初期設定（工場出荷時）＝する

す　る	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。（運転ランプのみ点灯） 再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。 点滅
しない	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。 点滅

3 そのまま放置する

そのまま約30秒放置しておくと、運転「切」の状態に戻ります。
すぐに機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

●給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。
●時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた

冬期の凍結による破損予防 -1

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

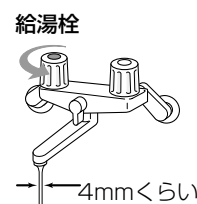
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。）

＊給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

■冷え込みが厳しいとき※は、さらに以下の処置をする。
（※外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日）

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 送油バルブを閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水（１分間に約400cc･･･太さ約4㎜）を流したままにしておく。
   ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
   ※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P5)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. 給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、P11「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

使いかた

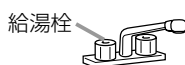
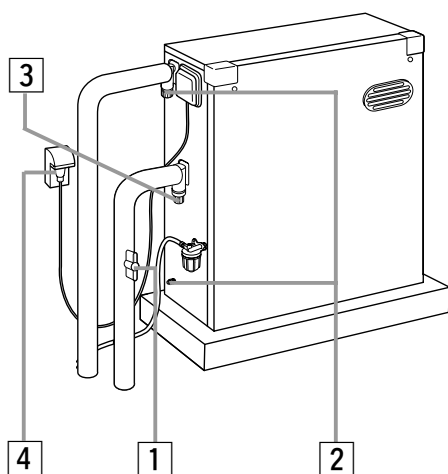
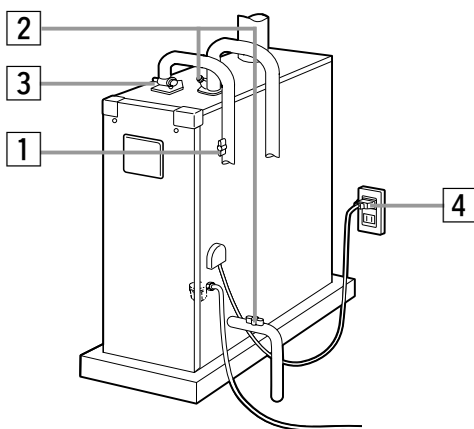
冬期の凍結による破損予防 -2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きによる凍結予防をおこなってください。

やけど予防のために
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。

１. 送油バルブを閉める。
２. 給水元栓1を閉める。
３. すべての給湯栓を全開にする。

４. 水抜き栓2を左に回して開ける。（屋内設置形の場合は、排水栓も開ける）
５. 水抜き栓（フィルター付）3を左に回して開け、外す。
６. ５の操作より１０分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓2（2カ所）と水抜き栓（フィルター付）3およびすべての給湯栓を閉める。
７. 運転スイッチを「切」にする。
８. 電源プラグ4を抜く。

【屋外設置形】

【屋内設置形】

再使用のとき

P11「運転開始前の準備と確認」の手順にしたがって使用してください。

日常の点検・手入れのしかた-1

やけど予防のために

お湯の使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてから作業してください。

点　検（月１回程程度）

チェック　⚠警告　排気筒外れ危険

排気筒が正しく接続されているか、穴があいていないか点検してください。
外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

チェック　⚠注意　排気口・トップ周辺の確認

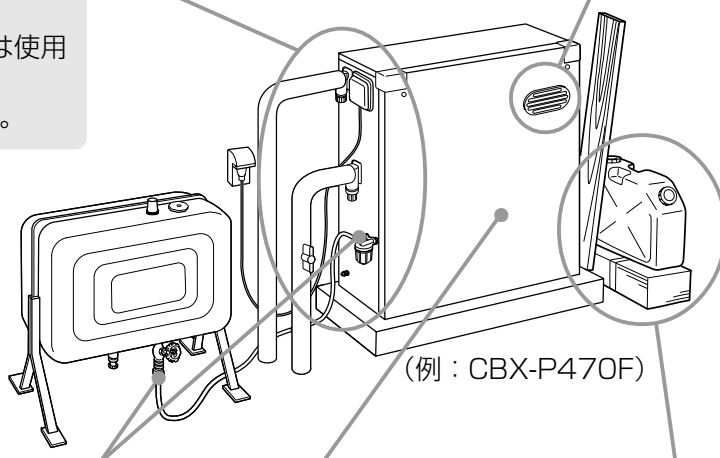
排気口・排気筒トップのすぐ前に物を置かないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

チェック　機器・配管から水漏れはありませんか？

＜水漏れのある場合＞

1．給水元栓を閉める。
2．運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3．販売店または、弊社へ連絡する。

チェック　排気口・給気口がほこりなどでふさがっていませんか？

（例：CBX-P470F）

チェック　⚠注意　油漏れ注意

オイルタンクや送油管の接合部などから、油漏れがないことを確かめてください。
油漏れにより、火災の原因になります。

＜油漏れのある場合＞

1．送油バルブを閉める。
2．運転スイッチ「切」にし、機器は使用しない。
3．販売店または、弊社へ連絡する。

チェック

＊運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
＊機器の外観に、異常な変色やキズはありませんか？

チェック　⚠注意　可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすい物（紙、洗濯物、揮発油、スプレー缶など）を置かないでください。
火災のおそれがあります。

日常の点検・手入れのしかた-2

お手入れ（定期的に）

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気を拭きとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

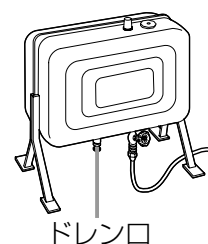
リモコンの表面の汚れは、湿った布で拭いてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
  変形する場合があります。

オイルタンク

オイルタンクに水が混ざると、オイルタンク内部のさび発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

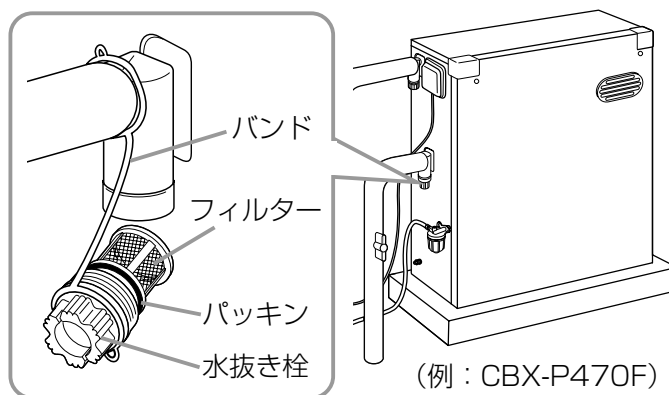
1．オイルタンク下部のドレン口の下に、灯油を受ける容器を置く。
2．ドレン口のバルブを開け、約200cc排水する。
3．容器にたまった液体が分離していれば灯油に水が混ざっているので、一度容器を空にし、再度約200cc排水する。（分離しなくなるまで、繰り返す）
※分離していなければ水は混ざっていないので、出た灯油はオイルタンクへ戻してください。
4．水抜きが完了したら、ドレン口のバルブを閉める。

ドレン口

水抜き栓のフィルター

フィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

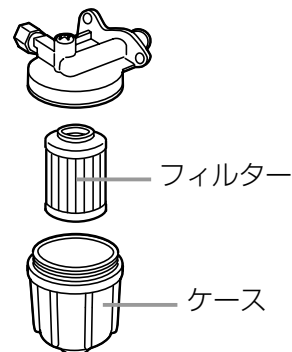
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

1．給水元栓を閉める。
2．すべての給湯栓を開ける。
3．水抜き栓を外す。（※1）
4．水抜き栓を配管とつながっているバンドから外す。
5．フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）
6．元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7．すべての給湯栓を閉める。
8．給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

（例：CBX-P470F）

（※1）このとき水（湯）が出るので注意してください。
（※2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

オイルストレーナ

オイルストレーナにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。わからないときは販売店にご相談ください。

1．オイルタンクの送油バルブを閉じる。
2．オイルストレーナの下に、送油経路内の灯油を受ける容器を置く。
3．ケースを左に回して外す。
4．フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
（汚れのひどいときはフィルターを交換してください）
5．元どおり取り付ける。
6．油漏れのないことを確認する。

定期点検（有料）

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。１年に１回程度、販売店または、修理資格者［（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など］のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

故障・異常の見分けかたと処置方法-1

「温度」に関すること

症状	確認・処置
給湯栓を開いても お湯にならない	＊運転スイッチは「入」になっていますか？ ＊オイルタンクの送油バルブ･給水元栓が全開になっていますか？ ＊灯油がなくなっていませんか？ ☞灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。 ＊送油経路に空気が残っている。（☞P10） ＊水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？（☞P22）
給湯栓を開いても お湯（水）が出てこない	＊断水していませんか？ ＊凍結していませんか？
設定温度のお湯が出ない	＊給湯栓は充分開いていますか？
給湯栓を開いても すぐお湯にならない	＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	＊オイルタンクの送油バルブ･給水元栓が全開になっていますか？ ＊温度設定は適切ですか？（☞P12,13） ＊夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	＊オイルタンクの送油バルブ･給水元栓が全開になっていますか？ ＊温度設定は適切ですか？（☞P12,13） ＊冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞りすぎて 水になった	＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3リットル以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
設定したお湯はり温度にならない	＊前日など残り湯（水）があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

「リモコン」に関すること

症状	確認・処置
運転ランプが点灯しない	＊停電していませんか？ ＊電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0：00」になっている	＊停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0：00」になることがありますので、再設定してください。（☞P16）

（つづく）

（つづき）

リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	＊機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。（表示の節電☞P18） 使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチ動作をしない （例）運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていないなど・・・	＊表示の節電中にスイッチを押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
表示の節電の状態にならない	＊表示の節電「する」の設定になっていますか？（☞P18） ＊温度を60℃、75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 ＊時計表示をしているときは、表示の節電はしません。
燃焼表示《 》が点灯したり消灯したりする	＊しくみ上、断続的に燃焼したり消火したりします。 故障ではありません。

「音」に関すること

運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブ〜ン）がする 運転スイッチを「入・切」したり給湯栓を閉めたとき、温度を変更したときなどに、モータが動く音（ウィン、ウィン）がする	＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
お湯を出したとき、止めたときに「パキ、パキ」と音がする	＊熱交換器内の圧力が上がると、一時的に熱交換器内の温度が上昇するため、音がします。異常ではありません。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない	＊お湯はりブザーは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。 ＊お湯はり中に、運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりブザーは鳴りません。
運転中に時々「カチッ」音がする	＊製品の機能上（しくみ）であり、異常ではありません。
運転中に時々「ビー」音がする	＊灯油をくみ上げるために、くみ上げポンプが作動している音です。

故障・異常の見分けかたと処置方法-2

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとたくさん出すように機器側で制御します。 ＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯の出が悪くなった	＊水抜き栓のフィルターにゴミが詰まっていませんか？（☞P22）

その他

使用中に消火した	＊オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていますか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊灯油がなくなっていませんか？ ☞灯油を補給し、運転スイッチを「切」「入」する。
寒い日に排気口・排気筒トップから白い煙が出る	＊冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	＊水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
機器の水抜き栓（過圧防止安全装置）からお湯（水）が少しの間、出ることがある	＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	＊水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。
下表に応じた処置をしてください。

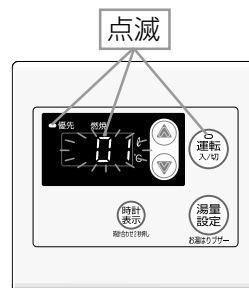
例：《 01 》を表示したとき、右図のような
点滅をくりかえします。

（台所リモコンの例）

表 示	原 因	処 置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転をいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
10	対震自動消火装置の作動	運転をいったん「切」にして再度「入」にし、表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は、機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
11、12	燃焼制御装置の非検知	運転をいったん「切」にして再度「入」にし、表示が出なければ正常です。
14	温度ヒューズ断線 バーナハイリミットの作動	
16	給湯出力異常	

以下の場合は、販売店または、弊社にご連絡ください

・上記以外の表示（例：61 など）が出るとき
・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
・その他、わからないとき

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者［(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など］の修理をお受けください。

仕様

品名		CBX-P470F
型式の呼び		CBX-P470F(OQB-407YA)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋外用開放形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)
燃料消費量＜L/h＞		5.3
連続給湯効率＜%＞		86.0
連続給湯出力＜kW＞		46.5
熱交換器容量＜L＞		0.7
使用圧力＜Mpa＞		1以下
外形寸法＜mm＞		高さ650×幅495×奥行250
質量＜kg＞		31
電源電圧及び周波数		AC100V　50/60Hz
定格消費電力＜W＞	点火時	100/95
	燃焼時	85/85
待機消費電力		運転スイッチ「入」約4.0W(省電力モード)、「切」約3.8W
排気温度		260℃以下
騒音レベル(Aレンジ)＜dB＞		48
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置
その他の装置		空だき安全装置、凍結予防ヒータ、温度ヒューズ

品名		CBX-P4700E
型式の呼び		CBX-P4700E(OQB-407F)
種類	燃焼方式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋内外兼用半密閉式強制排気形／屋外用開放形
	給水方式	水道直結式
	加熱形態	瞬間形
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)
燃料消費量＜L/h＞		5.3
連続給湯効率＜%＞		86.0
連続給湯出力＜kW＞		46.5
熱交換器容量＜L＞		0.7
使用圧力＜Mpa＞		1以下
外形寸法＜mm＞		高さ770×幅250×奥行530
質量＜kg＞		34
電源電圧及び周波数		AC100V　50/60Hz
定格消費電力＜W＞	点火時	95/90
	燃焼時	85/85
待機消費電力		運転スイッチ「入」約4.0W(省電力モード)、「切」約3.8W
排気筒の呼び径		φ106mm
排気温度		260℃以下
騒音レベル(Aレンジ)＜dB＞		48
安全装置		対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置
その他の装置		空だき安全装置、凍結予防ヒータ、温度ヒューズ

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P24～27「故障・異常の見分けかたと処置方法」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

製品名 ・・・・・・・・・・・・・・・ 本体正面左に貼付の銘板をご覧ください
設置日 ・・・・・・・・・・・・・・・ 保証書をご覧ください
異常の状況 ・・・・・・・・・・・ 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください。）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・設置日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。